

平成27年5月21日  
於  
府中市立教育センター

平成27年第5回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成27年第5回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 平成27年5月21日(木)

午後3時00分

閉 会 平成27年5月21日(木)

午後3時25分

2 議事録署名員

教育長 浅 沼 昭 夫

委 員 松 本 良 幸

3 出席者

教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘

委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 村 越 ひろみ

委 員 松 本 良 幸

4 欠席者

なし

5 出席説明員

教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史

教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 山 本 忠

三田村 裕 ふるさと文化財課長補佐 黒 澤 明 美

総務課長 志 摩 雄 作 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸 夫

学校施設担当主幹 山 田 英 紀 生涯学習スポーツ課長補佐 宮 崎 誠

総務課長補佐 北 村 均 図書館長 坪 井 茂 美

学務保健課長 酒 井 利 彦 図書館長補佐 山 本 征 史

給食担当主幹 鈴 木 哲 夫 美術館主幹 須 恵 正 之

学務保健課長補佐 山 田 晶 子

給食センター整備担当副主幹

大 井 孝 夫

指導室長補佐 古 塩 智 之

統括指導主事 日 野 正 宏

統括指導主事 国 富 尊

指導主事 山 本 勝 敏

指導主事 坂 元 竜 二

指導主事 林 田 孝 子

指導主事 駒 澤 文 泰

6 教育委員会事務局出席者

総務課係長 遠 藤 公巳明

総務課主任 鈴 木 紘 美

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第33号議案

第7期府中市生涯学習審議会諮問事項等について

第4 報告・連絡

- (1) ふるさと府中歴史館企画展「宝永の富士山噴火と府中」の開催について
- (2) 郷土の森博物館「あじさいまつり」について
- (3) 第7期府中市生涯学習審議会委員について
- (4) 2015ボールふれあいフェスタの開催について
- (5) 第26回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について
- (6) 府中市立図書館サービス検討協議会の名称等変更について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成27年第5回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか松本委員にお願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますけれども、会期は本日1日といたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） では、お願いいたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第33号議案 第7期府中市生涯学習審議会諮問事項等について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第3、議案の審議に入ります。

第33号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） では、説明をお願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） それでは、第33号議案「第7期府中市生涯学習審議会諮問事項等について」、お手元の資料に基づきましてご説明いたします。

本議案は平成27、28年度の2カ年度における第7期府中市生涯学習審議会の諮問事項とその答申の時期についてお諮りするものでございます。

まず、1の「諮問事項」でございますが、2点ございます。1点目は、「地域の教育力を活用した家庭教育の支援のあり方」、2点目は、「活動を支援すべき社会教育関係団体の定義及び当該団体に行う支援のあり方」でございます。

次に2の「答申時期」でございますが、「平成29年3月31日までを期限とし、個別に答申することを妨げない」こととするものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますでしょうか。ご意見等はいかがですか。よろしいですか。

それではお諮りいたします。第33号議案「第7期府中市生涯学習審議会諮問事項等について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案のとおり決定いたします。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎ふるさと府中歴史館企画展「宝永の富士山噴火と府中」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、日程第4、報告・連絡に移ります。

報告・連絡の1番について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒澤明美君） 「ふるさと府中歴史館企画展『宝永の富士山噴火と府中』の開催について」ご報告いたします。

府中市の40年間にわたる遺跡発掘調査の成果の1つとして、今から300年ほど前の宝永4年の富士山噴火によってもたらされた火山灰の痕跡が市内各所で確認されています。今回の企画展では、発掘された宝永の火山灰に焦点を当て、当時の人々がどのように対処したのかを文献をたどり、発掘成果を交えて、パネル展示等で紹介いたします。

会期は今月26日火曜日から7月12日日曜日までです。

会場はふるさと府中歴史館1階展示室内でございます。ぜひ、ご観覧いただきますよう、お願いいたします。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この点につきまして、何かご質問、ご意見等ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の1番について了承いたします。



◎郷土の森博物館「あじさいまつり」について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡の2番につきまして、同じくふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒澤明美君） 続きまして、「郷土の森博物館『あじさいまつり』について」ご報告いたします。

郷土の森博物館の園内では、1万株、30種類のあじさいが今月末から色づき始め、6月中旬から下旬にかけて見頃を迎えます。

会期は今月30日土曜日から7月5日日曜日まででございます。

期間中はあじさい工房でのあじさいの飾りづくりや、あじさい苗の販売、またお茶室ではこの期間限定のあじさい餅が楽しめる呈茶など、催しが行われます。この期間中にぜひとも色とりどりのあじさいをご覧いただきたく、あじさいまつりに足を運んでいただきたいと思います。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） あじさいまつりでございますけれども、何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

これも例年のとおりということで、報告・連絡の2番について了承いたします。



◎第7期府中市生涯学習審議会委員について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡の3番につきまして、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） それでは、(3)「第7期府中市生涯学習審議会委員について」、お手元の資料3に基づきましてご説明を申し上げます。

本件につきましては、平成27年第3回教育委員会定例会に既にお諮りしているところですが、去る4月13日に第1回審議会を開催し、正副会長が決定したため、改めて報告するものでございます。審議会の会長でございますが、学識経験者の寺谷弘壬さんが、副会長

には生涯学習ファシリテーターの三宅昭さんが就任されました。なお、前回お話しした際に、4月の定例校長会において選出予定としておりました教育分野からの選出委員でございますが、府中第一小学校の小島茂校長先生が選出されましたので、あわせてご報告申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見ございますか。

それでは、先ほどご承認いただきました諮問文をこの審議会にお願いするということでありますね。

それでは、報告・連絡3番について了承いたします。



◎2015ボールふれあいフェスタの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡の4番につきまして、同じく生涯学習スポーツ課、お願いします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 続いて、4番目の2015ボールふれあいフェスタの開催につきまして、お手元の資料4に基づきましてご説明申し上げます。

毎年多くの児童・生徒のご参加をいただき、好評を得ておりますボールふれあいフェスタは今年6月14日日曜日、郷土の森総合体育館及び郷土の森サッカー場で実施いたします。

本事業は市内で活躍しているラグビーの東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、バスケットボールのトヨタ自動車アルバルク東京、サッカー、バレーボールのFC東京、フットサルの府中アスレティックFCという、6つの全国レベルのトップチームと市内関係団体のご協力のもと、子どもたちに日本のトップレベルのスポーツ選手と触れ合うことで、スポーツが本来持つ楽しさを体験してもらうということを目的として開催しております。今年で12回目となるものでございます。

詳細につきましては資料のとおりでございますが、本事業は全国レベルのトップチームを数多く擁します本市ならではの事業でございます。児童・生徒にとりましても一流のスポーツ選手と直に触れ合うことができる貴重な機会となっておりますので、あわせて報告申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見ございますか。

はい、どうぞ。

○委員（村越ひろみ君） 多分、これは子どもたちがすごい楽しみにしているのかなと思うのですが、12回目ということで、昨年というか、参加人数はどんな感じですか。あと、何か評判というか、声が聞けたらと思うのですが、

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 昨年度の参加人数でございますが、約1,500人ということで、報告をもらっております。声としましては、日頃見るだけのスポーツ選手の方と直接触れ合えるということで、児童ご本人はもとより保護者の方にもご好評いただいているというものでございます。

以上です。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の4番について了承をいたします。



◎第26回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡の5番につきまして、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） 続きまして、5番目の「第26回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について」、お手元の資料5によりご説明をいたします。

本事業でございますが、広く市民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、市民一人一人がその活動の進行に寄与することを目的として、開催しているものでございまして、今年で26回目となるものでございます。今年につきましては、6月28日曜日の午前10時から郷土の森総合体育館で開会式を行いまして、その後、市民団体による演技種目の発表、さらに14の競技種目を1カ月余りにわたり実施することとしております。

詳細につきましては、資料のとおりでございますが、本事業につきましては、毎年多くの児童・生徒にも参加をいただいております。今回につきましても、6月1日号の『広報ふちゅう』に記事を掲載するほか、実施要項と申込書を各小中学校に配付する予定としておりますので、あわせて報告をいたします。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡の5番につきまして、何かご質問、ご意見等ございますか。よろしいですか。

それでは、本件につきまして了承いたします。



◎府中市立図書館サービス検討協議会の名称等変更について

○教育長（浅沼昭夫君） 次に報告・連絡の6番につきまして、図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐（山本征史君） 図書館より、資料6に基づき、府中市図書館サービス検討協議会の名称等変更についてご報告いたします。

1の趣旨につきましては、「府中市立図書館サービス検討協議会」は、名称を「府中市立図書館サービス検討会議」に変更いたします。

2の経緯ですが、「府中市立図書館サービス検討協議会」は、「府中市附属機関の設置等に関する条例」の平成27年4月1日施行に伴いまして、事前にこれまでの附属機関等について、政策課と担当課による整理検討を行いました結果、これまで「類似機関」という位置づけだったものを新たに「その他の会議」として位置づけることとなりました。同協議会は、図書館のサービス向上を目的とし、利用者へのサービス提供のあり方について検討する会として設置しております。諮問事項を決めて答申をいただくよりも、課題となる事項について、その場で市民としてのご意見をいただき、サービス改善に結びつける会にするため、機関の見直しを図ったものです。

これにより、附属機関と捉えられる印象である「府中市立図書館サービス検討協議会」を取りやめ、名称を「府中市立図書館サービス検討会議」にする等、必要な変更を行ってまいりたいと思います。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして、何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の6番につきまして、了承をいたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他でございますけれども、皆さんから何かございますか。あるいは事務局から。大丈夫ですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それではないということですので、日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況につきましては、別紙の「平成27年第5回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は、平成27年4月15日から5月15日までの活動内容となっております。

私からご報告申し上げます。事務局より4月24日にご報告させましたとおり、先月の定例会があった日であります4月16日に「子どもと教科書を考える府中の会」より要望書をいただきました。内容といたしましては、総合教育会議がこのたび設置された中での、教育委員会の独立性に対する懸念を示されたものでございましたけれども、教育委員会の独立性や権限は変わりません、すなわち、「ご心配なく」という趣旨の回答を4月30日に教育委員会名で差し上げましたので、ご報告いたします。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、それぞれの委員の皆様から報告等お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） では、崎山から2点報告いたします。

実は1週間ほど前に、国立感染症研究所感染症疫学センターの方から昨年の府中市のセカンドスクールで発生したクリプトスポリジウムの集団感染について、研修会で報告してほしいと依頼がありました。全国的にも珍しい疾患であり、現場でどのような対応をなされたかについて、感染症の専門家としても興味のある事例だったとのこと。府中市としての対応は適切だったと考えておりますが、今後に向けての助言もいただけるかと存じます。10月15日とのことなので、適宜準備を行い、発表してまいろうと思っております。

先月、郷土の森博物館研究資料集第1集として、『県居井蛙録』が届きました。これは江戸時代に本宿村に住んでいた内藤重喬、重英の日記とのこと、家族が立て続けに3人はしかに罹患しているなどの様子がわかるのがおもしろいと感じました。文学的なおもしろさというより、淡々と描かれている生活の様子に興味を感じました。このような記録を1つ1つ資料として残すことは、手間もかかり大変なことではありますが、ぜひ継続していただきたい仕事だと考えました。貴重な資料を作成していただきましてありがとうございました。

また、今私手元に携帯電話を持っていますけれども、セカンドスクールが始まりまして、また向こうは病院が少ないので、ホットラインということで、今年も医師2人が携帯電話を持つ



体制がまた始まっておりますことも報告いたします。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、齋藤委員、お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 前回の定例会以降の活動としましては、別紙のとおりでございます。

特にその中で、第五小学校の学校公開日に訪問しまして、校庭の芝生を眺めながら、その手入れをしていました用務員さんの話などを聞きながら、いろいろ考えました。この芝生の校庭を長く維持するということはなかなか大変なことだなというふうに思いました。

校庭を芝生にした学校では、保護者、PTAや地域の皆さん方と連携をして、ポット苗を育てて移植をしたり、それから子どもたち自身がそういう活動に参加をして、学校環境づくりに取り組んでいるという様子が、学校だよりとか学校のホームページなどで取り上げられて、広報されています。

ちょうどこれから運動会のシーズンということで、芝生の校庭のよさを味わえる時期になるというふうに思いますけれども、それとともに、芝生が傷む時期でもあろうかと思えます。五小の芝生を眺めながら、このままではどうだろうかという心配もちょっと湧いたのです。頑張っているのですけれども、各学校では、その芝生維持のための子どもたちの活動を中心にしながら、コミュニティスクール、あるいはスクールコミュニティというふうな発想をもって、保護者や地域と連携をして、活動を展開してほしいというふうに思っています。そのように頑張ってくれているわけですが、それとともに、教育委員会としまして、学校任せにしないというのでしょうか、教育委員会として必要な支援はきちんと続けていくということが必要ではないかなというふうなことを思いましたので、そのようなことをこの場で感想として述べさせていただきます。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続いて、村越委員。

○委員（村越ひろみ君） では、2つほどお話しさせていただきたいと思えます。

今回の委員としての活動は会議のみでしたので、個人的に行ってみて感じたことを1つ話します。

道路を見ていたら浅間山のキスゲフェスティバルの看板があったので、立ち寄ってみました。恥ずかしながら、府中に生まれ育ったにもかかわらず、また近くにいながら浅間山をこんなにじっくり歩いたのは初めてというところで、子どもが小さいときはカブトムシを見つけにとかは行ったのですけれども。その日は5月10日で、とても暑さの厳しい日でした。浅間山はここから富士山が見えるという場所まであって、へえと思つて帰ってきたのですけれども、浅間山はとても爽やかで、涼しさを感じることができました。浅間山にしか生息していないのですよね、ムサシノキスゲ。間近に見ると、本当に小さくて黄色くてかわいいお花で、思わずスマートフォンで写真におさめてしまいました。私みたいに府中に生まれ育っているにもかかわらず、身近なことを知らないのはちょっとだめだなと思えます。何か、府中にいることが当たり前で、ここにいることに慣れてしまっている自分にはっとしました。

こんな私にならないように、府中に住む子どもたちが、育っていく中で感受性の豊かな小学校、中学校の時期に、1つでも多くの文化とか歴史、たくさんの景色や木々や花を見て知って、何か将来を導ききっかけになってもらえたら、探してもらえきっかけになったらいい

いなというふうに思いました。文化スポーツ部を中心に、いっぱい企画をされているので、たくさんたくさん子どもが参加してもらっていったらいいと思いました。

それともう1つ、きのう、たまたまラジオを聞いていたのですけれども、題名とかはよく分からないのですが、感謝と礼のしつけだったのかな。あと生い立ち教育、多分私の子どもが小さいときも、1、2年生のときか、多分子どもが自分の生まれたときの写真を持ってきなさいとか、子どもがどんなふうに育ったのか、お母さんに聞いてきなさいとか、そういう話をいっぱい子どもが受けて、学校で発表してとかいう授業が、確かにありました。

今もそれは府中でもあるのかなとは思うのですけれども、その番組で言っていたのは、生を受けたことの感謝とか、育ててくれたことに感謝する心とか、命の大切さというのを教えるためには必要ではあるとは思うのですけれども、今は家族というものが多様化していて、例えば全ての子どもに親に愛されて育つことが一番いいのだよとか、お父さん、お母さんに感謝しなさいとか、そういうことを押しつけるというか、全部の子どもにそれが通用するかというと、厳しいのだよという話をしていました。あとは、先生の個人的な思いとか経験だけで進める授業であってはいけないということもちょっと耳にしました。

確かに今は再婚同士の家族だったりとか、国際結婚による家族だったりとか、そこでは同性愛結婚までも言っていましたけれども、それはちょっとあれでしょうけれども、とにかく家族の多様性を踏まえて、その生い立ち教育というものを考えていく必要があるのかなというのをちょっと耳にして、これから府中でも考えるときが来るのかなというのをちょっと感じたので、報告させていただきます。

○教育長（浅沼昭夫君） 次、松本委員お願いします。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。今回は小学校での農園指導で気づいたことをお話しさせていただきます。

私は幾つかの小学校で農業体験のお手伝いをさせていただいております。5月7日に第六小学校3年生による種まき作業を学校農園で指導したのですが、今回とても驚いたのは、児童たちが2年生だった3学期に行ったジャガイモの種植え時と、今回の児童たちの様子がとても変わっていたということです。前は、少々落ちつきがなく、集団行動ができていない状況で、私も思わず大きな声で「先生は35個の目を持っているわけではないので、皆さんが先生を見てあげなければだめだぞ」と怒鳴ってしまいました。ところが、今回は数カ月しかたっていないのに、とてもよい子に変わり、集中力があり、集団行動にも全く問題がありませんでした。

3年生になって、クラス替えと先生の交代があったとはいえ、その成長は本当にびっくりしてしまいました。私も児童や先生方に、とてもすばらしい態度で作業をしてくれましたと褒めたのですが、次回の指導時には先生方に何か特別な指導をされたのですかと聞いてみたいと思っています。

児童や生徒の生活指導では、学校関係者では気づかないことも第三者から見ると気づくことが多くあると思いますので、コミュニティ・スクール活動などでも、授業参観や大人と一緒に活動する機会を持っていただき、積極的に外部からの意見を聞く姿勢を持たれたらよいのではと、その場では感じました。

以上で、私からの報告を終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、これで平成27年第5回府中市教育委員会定例会を閉会

いたします。

お疲れさまでした。



午後3時25分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成27年6月18日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

松本 良幸